

2022年11月11日
SOMPOホールディングス株式会社

パーパス経営に取り組む企業姿勢を発信するプロモーション『SOMPO伝』を実施 ～日本経済新聞に見開き全面広告を3回シリーズで掲載～

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO執行役会長：櫻田 謙悟）は、昨年度に続きパーパス経営に取り組む企業姿勢を発信するプロモーション『SOMPO伝』を実施します。

今年度は、11月11日（金）、18日（金）、25日（金）の3回にわたり、日本経済新聞に見開き全面広告を掲載します。



なぜSOMPOは、社員100名の伝記を作ったのか。

SOMPO伝。それは、SOMPOで働く社員100名の意志の物語。会社人としてではなく人間としての、彼らの原体験・生き方を、約500時間かけて取材・執筆・編集。SOMPOの全社員に届けた。会社中心の働き方ではなく、自分中心の働き方を考えてもらうために、社員一人ひとりに、もっと幸せな働き方を見つけてもらうために、働くことの価値。生きることの幸せ。それをアップデートしていくのが、私たちSOMPOだから。

SOMPOという舞台で、自分の志を実現していく人々の物語。

SOMPO伝

SOMPO | 損保ジャパン | SOMPOのまわり生命 | SOMPOケア

<11月11日（金）掲載広告>

1. 背景

SOMPOグループは、人々の「安心でいたい。安全でいたい。健康でいたい。」という根源的な想いにさまざまなソリューションで応え、もしものときにお役に立つだけでなく、暮らしに、人生に寄り添えるパートナーを目指し、2021年度からパーパス経営に大きく舵を切っています。

『SOMPO伝』は、パーパス経営の主役であるグループの役職員一人ひとりが「SOMPO」という舞台上、自分の志（以下「MYパーパス」）を実現していく物語です。

『SOMPO伝』を通じて、役職員一人ひとりのMYパーパスを起点に、SOMPOのパーパスである「安心・安全・健康のテーマパーク」により、あらゆる人が自分らしく健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」という企業姿勢を発信し、企業価値向上を目指します。

2. 3回シリーズの新聞広告の概要

- (1) 11月11日(金)掲載 「なぜSOMPOは、社員100名の伝記を作ったのか。」
昨年度、SOMPOグループで働く役職員100名のMYパーパスを未来伝記として、約500時間かけて取材・執筆・編集し、公開しました。その100冊の未来伝記を整然と並べたものをビジュアルにし、『SOMPO伝』実施の背景をメッセージにしています。
- (2) 11月18日(金)掲載 「だったら、会社を使ってみよう。」
自分の志や素直な欲望を叶えるヒントを会社の中で探したり、MYパーパスを実現する場として会社を活用するといった、「会社を使いたおす」働き方を応援する姿勢を表現しています。
広告には、SOMPOケア そんぼの家^s 淡路駅前の職員 圓藤 香津子を起用しています。
- (3) 11月25日(金)掲載 「失敗したら、始まり。」
今年度、MYパーパスに突き動かされたチャレンジあふれるカルチャーへの変革を目的に、グループ横断の社内表彰制度「SOMPOアワード」^{*}を導入しました。第三弾の広告では、役職員一人ひとりが自分の志に従い、失敗を恐れずに思い切って挑戦することを後押ししていく姿勢を表現しています。
広告には、SOMPOひまわり生命 事業企画部 サービスデザイングループの職員 松本 洸徳、蓮井 智子、正木 彩茄を起用しています。
※2022年10月28日付トピックス
https://www.sompo-hd.com/-/media/hd/files/news/2022/20221028_1.pdf

3. 『SOMPO伝』特設サイト

今回広告に起用している職員(圓藤 香津子、松本 洸徳)の未来伝記は、『SOMPO伝』特設サイトよりご覧いただけます。また、グループ22社100名の役職員の未来伝記も『SOMPO伝』特設サイトでご覧いただけます。

<https://www2.sompo-hd.com/company/sompo-dna/>

以上